

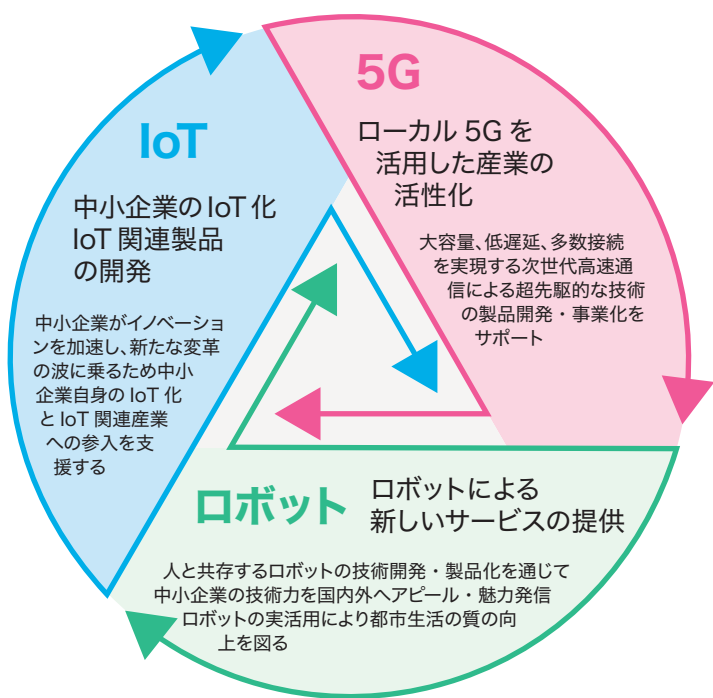
# DX推進センター

中小企業による  
5G・IoT・ロボット技術の社会実装を支援します！

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、5G技術の普及啓発や中小企業によるIoT、ロボットなど先端技術の社会実装を支援する新しい支援拠点「DX（ディーエックス）推進センター」をテレコムセンター（江東区青海）内に整備しました。

\*DX：デジタルトランスフォーメーション

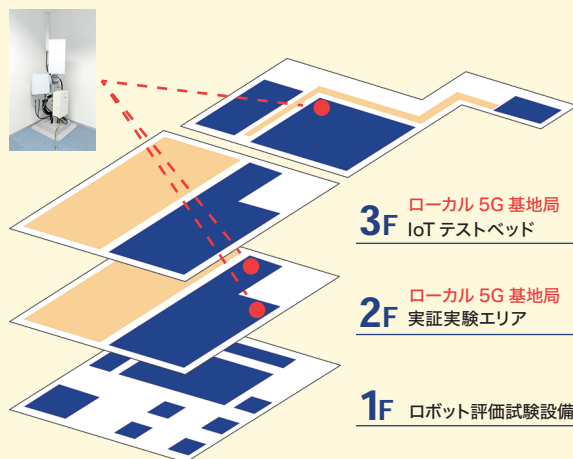
## DX推進センター概要



中小企業による 5G・IoT・ロボットの  
先端技術の社会実装を支援

### 5Gによる実証・試験の場 ローカル 5G 基地局の設置

テレコムセンタービル内に拠点を整備



問い合わせ先

プロジェクト事業推進部

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンタービル東棟 2F

TEL 03-5530-2558 FAX 03-5530-2400

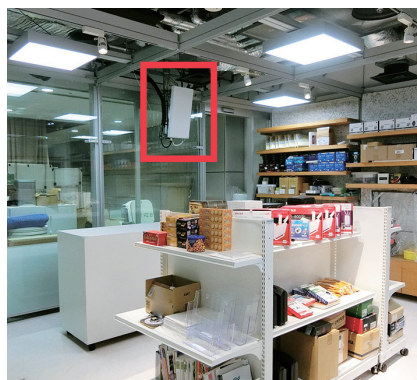
アクセス

ゆりかもめ ▷「テレコムセンター」直結改札より徒歩3分

りんかい線 ▷「東京テレポート」駅より、無料巡回バス2分



## 中小企業の5G普及促進事業



次世代通信規格の一つであり、その革新的な技術が注目されている5Gの無線通信設備や評価装置を導入し、5G製品の開発を支援します。

新たな開発拠点となる「DX（ディーエックス）推進センター」に設けた3か所の5G通信施設を利用した実証実験が可能です。

\*DX：デジタルトランスフォーメーション

## 中小企業のIoT化支援事業

さまざまなものがインターネットを通じて繋がることで、新たなサービスやビジネスモデルを生み出す「IoT社会」が進展しつつあります。

都産技研では、研究開発と人材育成を軸としたさまざまな取組みを行うことで、中小企業のIoT活用による生産性の向上や業務の効率化、またはIoT関連製品の開発や新たなサービスの提供によるビジネス創出を支援します。



## サービスロボット社会実装支援事業



ロボットは、産業分野に限らず生活の質の向上や安全・安心な社会の実現など、日常生活を含むさまざまな場面での活用が期待されています。

都産技研は、単なるロボット技術開発にとどまらず、必要とされるサービス分野において、商品となるロボットを創り「実用化」、それらのロボットを生かした新しいサービスの提供「事業化」を目指す中小企業を支援するため、「サービスロボット社会実装支援事業」を実施しています。

# 中小企業の5G普及促進事業

通信応用・5G技術グループ TEL 03-5530-2540 FAX 03-5530-2591

## 支援内容

- ・次世代通信規格の一つであり、その革新的な技術が注目されている5Gの無線通信設備や評価装置を導入し、5G製品の開発を支援します。
- ・新たな開発拠点として「DX(ディーエックス)推進センター」を整備し、センター内に設けた3か所の5G通信施設を利用した実証実験が可能です。  
\*DX：デジタルトランスフォーメーション

## ローカル5G基地局

DX推進センターの5G評価室、実証試験エリア、ロボット走行性能の評価が可能な傾斜路走行試験装置の3か所に5G基地局を整備しました。開発製品に合わせた様々な状況を模擬した実験が可能です。



5G評価室



実証試験エリア

## 製品開発支援

ローカル5G基地局を利用した実証実験のほかに、28GHz帯の製品開発で必須なOTA(OverThe Air)評価が可能な電波暗箱や基地局エミュレータなどの評価装置、アンテナ解析などが可能な電磁界シミュレータを整備し、5Gを利用した製品開発の支援を行います。

## 支援対象

これまで支援してきたロボットやIoT技術などに5Gの機能を付与したユースケースの創出や、5G仕様デバイスの開発製品の性能評価などに対応します。また、5G研究会を立ち上げ、5G活用の普及促進を図り、ビジネスモデルの創出を目指します。

# ローカル5G用製品の評価機器

通信応用・5G技術グループ TEL 03-5530-2540 FAX 03-5530-2591

## 特徴

3基のローカル5G基地局を整備し、様々な環境での実証実験可能  
28 GHz帯で必須のOTA(Over The Air)に対応した評価が可能  
ビームフォーミングの測定、電磁界シミュレータによる解析が可能

3基のローカル5G基地局、基地局エミュレータやコンパクトアンテナテストレンジ(CATR)、電磁界シミュレータなどを整備し、5Gの普及、製品の開発を支援します。

ローカル5G基地局を実証試験エリア、傾斜路走行試験装置エリア、5G評価室に設置し、様々な状況でローカル5Gを用いた実証実験が可能です。

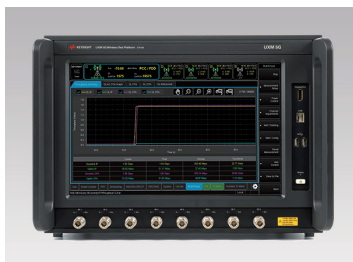
移動局としてはイーサネットを5Gの無線通信に変換する端末を準備しています。イーサネットポート有する機器を5Gで無線化し、評価が可能です。



実証試験エリア



コンパクトアンテナテストレンジ



基地局エミュレータ

ローカル5G用の信号を発生・解析できる基地局エミュレータとコンパクトアンテナテストレンジ(CATR)を整備し、信号品質の解析やビームフォーミングの測定などがOTAで評価可能です。

## 代表的な仕様

試験機	仕様
ローカル5G基地局	周波数:FR2(28GHz帯) 構成:Non-Stand Alone
基地局エミュレータ	対応規格:TS38.521
コンパクトアンテナテストレンジ	周波数:24-43.5GHz クワイエットゾーン:30cm

ご利用方法、料金などの詳細については職員までお問い合わせください。

## 活用事例

- ・ロボットに搭載したカメラを5Gで無線化し、画像処理の実証実験
- ・自社の環境を模擬した5G導入前の予備検討
- ・電波法申請前の予備実験
- ・5G通信を利用した製品開発の際のビームフォーミングのシミュレーション、実験での解析